第六講『大鏡』

次の文章は、『大鏡』の一節で、太政大臣藤原為光の二人の男君のことを語る部分である。よく読んで、後の問いに答えなさい。

男君、[注1]太郎は、左衛門督(さゑもんのかみ)と聞こえさせし。悪心起こして失せ給ひにしありさまは、いとあさましかりしことぞかし。人に越えられ、からい目見ることは、さのみこそおはしあるわざなるを、さるべきにこそはありけめ。同じ[注2]宰相におはすれど、[注3]弟殿には人柄・世おぼえの劣り給へ[a]ればにや、中納言空(あ)く際に、「我もならむ」など思して、わざと①対面し給ひて、「この度(たび)の中納言、望み申し給ふな。ここに申し侍るべきなり」と聞こえ給ひければ、「いかでか、殿の御前(さき)にはまかりなり侍らむ。まして、かく仰せられむには、あるべきことならず」と②申し給ひければ、[A]御心行きて、しか思して、いみじう申し給ふに及ばぬほどにやおはしけむ、[注4]入道殿、この弟殿に、「そこは申さ[b]れぬか」とのたまはせければ、「左衛門督の申さるれば、[B]いかがは」と、渋々げに申し給ひけるに、「かの左衛門督は、えなられじ。また、そこに避(さ)られば、異人(ことひと)こそはなるべかなれ」と③のたまはせければ、「かの左衛門督まかりなるまじくは、よしなし、なし給(た)ぶべきなり」と④申し給へば、「またかくあらむには、異人はいかでか」とて、[C]なり給ひにしを、「いかで、我に向か

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ひて、あるまじきよしを謀(はか)りけるぞ」と思すに、いとど悪心を起こして、除目(ぢもく)[注5]の朝(あした)より、手を強く握りて、「斉信・道長に、我はばまれぬるぞ[注6]」と言ひ入りて、物もつゆ参らで、うつ臥しうつ臥し給へるほどに、病づきて、七日といふに失せ給ひにしは。握り給ひたりける指(および)は、あまり強くて、上にこそ通りて出でて侍りけれ。

（『大鏡』太政大臣為光による）

（注）

1　太郎――為光の長男誠信。

2　宰相――参議の唐名で、上達部（公卿）の一員。

3　弟殿――為光の次男斉信。

4　入道殿――藤原道長。

5　除目の朝――中納言などを任命する儀式の翌朝。

6　我はばまれぬるぞ――私はだまされたのだ。

問一　点線①～⑤は、誰の動作か。次の中からそれぞれ選べ。

ア　為光　　イ　誠信　　ウ　斉信　　エ　道長

①＝　　②＝　　③＝　　④＝　　⑤＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　傍線A「御心行きて」の部分を現代語訳しなさい。

問三　傍線B「いかがは」の下に省略された内容を含めた意味として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　弟の私が中納言になるわけにはいきません。
イ　弟の私がぜひ中納言になりたいと思います。
ウ　兄上に中納言になってもらいたいと思います。
エ　兄上が中納言になるのはおかしいと思います。
オ　兄上がなぜ中納言になろうと思うのでしょう。

問四　傍線C「なり給ひにしを」は、（ア）誰が（イ）何になったことをいうか。

（ア）＝

（イ）＝

問五　傍線D「物もつゆ参らで」の部分を現代語訳しなさい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　波線（二か所）の「悪心」とは、どういう意味か。「人を□心」の空欄に入る最も適切な言葉を、本文の内容に即して、三字以内で答えなさい。

問七　二重傍線ａ・ｂの助動詞について、その（ア）意味と（イ）終止形と（ウ）文中での活用形をそれぞれ答えなさい。

ａ　（ア）＝　　（イ）＝　　（ウ）＝

ｂ　（ア）＝　　（イ）＝　　（ウ）＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第六講　復習問題

①「つゆも寝られず」の解釈として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　結局お休みにならず
イ　自然に寝ずにはいられず
ウ　少しも寝られず
エ　予想通り寝ることができず

②　次の波線部ａ・ｂの助動詞の意味として、最も適当なものを後の中からそれぞれ一つ選べ。

上(かみ)のその道を得たまへ れ(a)ば、かくて、このたび撰ば れ(b)たるをば、新古今といふなり。

ア　完了　　イ　使役　　ウ　尊敬　　エ　自発　　オ　婉曲

ａ＝　　　　ｂ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③「さてもあさましかりしことかな」の現代語訳として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　それはそれは、恥ずかしいことでありましたなぁ
イ　それにしても、あまりのことで驚きましたなぁ
ウ　そうして今度は、後悔することになりましたなぁ
エ　そうはいっても、がっかりするような出来事でしたなぁ
オ　そうですね、思わずぞっとしましたなぁ

④「いとどしく」の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　あまりにも
イ　そのまま
ウ　性悪にも
エ　何度も
オ　ますます

⑤人物伝中心に歴史を語る『大鏡』の中で、派生的なエピソードの語りを受け持つ人物は誰か、次の中から一つ選べ。

ア　夏山繁樹　　イ　侍　　ウ　翁　　エ　大宅世継　　オ　嫗

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第六講　模範解答

問一　①イ　②ウ　③エ　④ウ　⑤イ
問二　満足なさって
問三　ア
問四　（ア）斉信　（イ）中納言
問五　食事も全く召し上がらないで
問六　憎む〔恨む〕（二字）
問七　a（ア）存続（完了）（イ）り（ウ）已然形
　　　　b（ア）尊敬　（イ）る　（ウ）未然形

〔現代語訳〕

（為光の）ご子息の、長男〔＝誠信〕は、左衛門督と申し上げた。人を恨み憎む心を起こして亡くなりなさった様子は、ひどく驚きあきれたことだよ。他人に（官位を）越えられ、つらい目にあうことは、誰もがよくおありになることであるが、（左衛門督も）そうなるはずの運命であったのだろう。同じ参議でいらっしゃるけれど、弟殿〔＝斉信〕には人柄や、世間の評判が劣っていらっしゃったからであろうか、中納言の欠員が生じた時に、（左衛門督が）「自分もなろう」などとお思いになり、わざわざ（弟殿に）対面なさって、「今度の中納言は、（あなたは）お望み申し上げなさるな。私が申請するつもりです」と申し上げなさったので、（弟殿が）「どうして、兄上よりお先に（中納言に）なりましょうか。いや、なりません。まして、このようにおっしゃるからには、（私が）願うのはあるべきことではない」と申されたので、（左衛門督は）満足なさって、そのように信じなさって、あまり任官申請の努力をなさらない間のことでいらっしゃったのだろうか、入道殿〔＝道長〕が、この弟殿に、「あなたは（中納言の職を）申請なさらないのか」とおっしゃったので、（弟殿が）「（兄の）左衛門督が申請なさるので、どうして（私が望むことができましょうか）」と仕方なさそうに申されたので、（道長が）「あの左衛門督は、（中納言には）なることはおできにならら

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ないだろう。また、あなたが辞退なさるならば、他の人が任命されるに違いないだろう」とおっしゃったので、（弟殿が）「あの（兄の）左衛門督がなることができないのなら、（私が辞退することも）意味がない、（私を中納言に）任命なさってください」と申し上げなさると、（道長が）「（あなたが）またこのようにお望みになるようなら、他の人をどうして（中納言に任命できようか、いや、できない）」とおっしゃって、（弟殿が中納言に）おなりになったので、（左衛門督が）「どうして、（弟は）私に向かって、（中納言になることは）あり得ないということを（言っておきながら）だましたのだ」とお思いになると、ますます憎しみの心を起こして、除目の翌朝から、両手を強く握りしめて、「斉信と道長に、私はだまされたのだ」と言い続けて、食事も全く召し上がらないで、うつ伏し続けていらっしゃるうちに、病気になって、七日目にお亡くなりになってしまったよ。握りしめなさった指は、あまりに強くて、（手の甲を）突き抜けていたそうです。

〔**重要単語**〕

○からし【辛し】…①からい。　②残酷だ。　③**つらい**。　④いやだ。　⑤あぶない。

○おぼえ【覚え】…①**よい評判**。　②**寵愛を受けること**。　③記憶。

○わざと…①**わざわざ**。　②正式に。　③特に。

○よしなし【由無し】…①**理由がない**。　②**手段・方法がない**。　③関係がない。　④**無益である**。　⑤よくない。

○いとど…①**ますます**。　②そのうえさらに。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第六講　解答解説

〔解説〕

①「**つゆ**〜打消」は「**まったく**〜**ない**」と訳す全否定の呼応の副詞。よって、正解はウ。

②「れ」の識別。ａは、上の音が**e**段なので「完了・存続」の助動詞「**り**」。よって、正解はア。ｂは、上の音が**a**段なので「受身・尊敬・可能・自発」の助動詞「**る**」。上が心情動詞ではないので、消去法でウの尊敬が正解。

③「あさまし」は重要単語で、「驚きあきれる」の意味。よって、正解はイ。

④「いとど」は重要単語で、「ますます」の意味。「いとどし」は「いとど」に対応する形容詞。よって、正解はオ。

⑤『大鏡』の語り手なので、ア「夏山繁樹」か、エ「大宅世継」であることはわかってほしい。本設問は、さらに「派生的なエピソードの語りを受け持つ人物」とまで問うているなかなかマニアックな文学史問題である。が、『大鏡』が別名として『**世継物語**』や『世継の翁が物語』と呼ばれていることを知っていれば、派生的なほうが繁樹ではないかと予測はできるはず。正解は、ア「夏山繁樹」。

〔解答〕

①　ウ　②　ａ　ア　ｂ　ウ　③　イ　④　オ　⑤　ア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。